



後藤啓介先生 研修終了

4ヶ月間の研修を終え、病院へ戻られました。

研修を振り返ってのご感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

【4ヶ月間の研修を終えて】

私は内科医をすこし経験した後に病理医に転職しましたが、臨床皮膚科の経験は全くありませんでした。ただ、病理医として皮膚生検標本の診断、特に炎症性皮膚疾患の診断には毎日悩まされていました。

皮膚病理にはずっと苦手意識ばかり持っていましたが、とある先生の講演を聴いて皮膚病理の面白さに気づいてしまいました。すなわち、一枚の切片から病変の診断のみならず、患者背景、採取部位、病変の時相、病変に加わった外的要因などを推理する楽しさです。

一気に皮膚病理の魅力に吸い込まれ、木村先生が主催する講習会にも参加するようになりました。そして札幌で皮膚病理研修がシステム化されていることを知りました。二度目に参加した講習会で木村先生に直接声をかけさせていただき、研修の申し込みをしました。いろいろと幸運が重なり、2009年4月から7月までの4ヶ月間を札幌での皮膚病理研修にあてることができました。

勤務する病院業務もあったため、火曜日～木曜日の週3日間だけの研修でしたが、得るものは非常に多かったです。毎日7時30分～17時まで、木村先生の解説の下、膨大で多彩な症例を論理的に診断する過程を経験できたことは、自分の皮膚病理診断の大きな自信につながりました。また、研修をとおして、同じような志を持ったいろいろな方々と知り合え、世界も広がりました。

時間的な制約から札幌の街を堪能することはできませんでしたが、そんなことを悔む気持ちになれないほど皮膚病理を堪能することができ、大満足な4ヶ月間でした。

木村先生はじめ、診断科のスタッフのみなさま、本当にお世話になりました。それから、一緒に研修期間を過ごした、苅谷先生、阿南先生、木曾先生、短い期間でしたが、一緒に検鏡したり食事に行ったことはいい思い出になりました。

みなさま、ありがとうございました。

愛知厚生連 海南病院 病理部 後藤 啓介



研修最後の日に、「送別ランチ会」を行い、全員で記念撮影をしました。木村院長と握手をしているのが後藤先生（前段左から2人目）です。

研修の成果を存分に発揮され、さらにご活躍くださいますことを期待しております。どうぞお元気で！

研修医募集再開のお知らせ

2010年3月で終了予定とご案内しておりました 皮膚病理研修システムを Ackerman記念札幌皮膚病理研究所にて、継続することが決まりました。

研修内容

皮膚疾患の病理組織診断法

・・・日常診断業務への参加

各種皮膚疾患の病理組織像の理解

・・・同一疾患の多数例の検討

各種カンファランスへの参加

・・・各種医療機関の催しや地方会への参加など

各種プロジェクトへの参加

・・・論文作成など



受付条件

定員 4名

研修期間 2010年4月以降

※新規で申し込みされる場合の
研修期間は3ヶ月以上とさせていただきます。

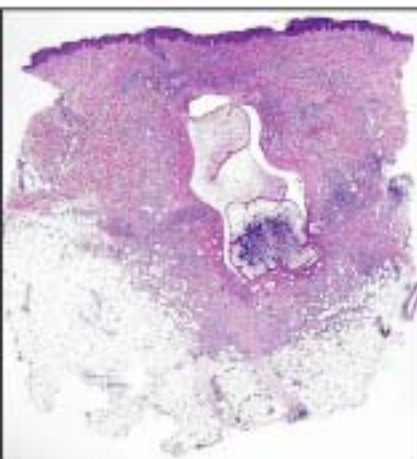
毎日100件超の診断をしているため、典型例から稀な症例まで、様々な疾患を診断過程から学ぶことができます。

お申込み・お問い合わせは、
電子メールでお願いします。
office@ackermansidp.jp

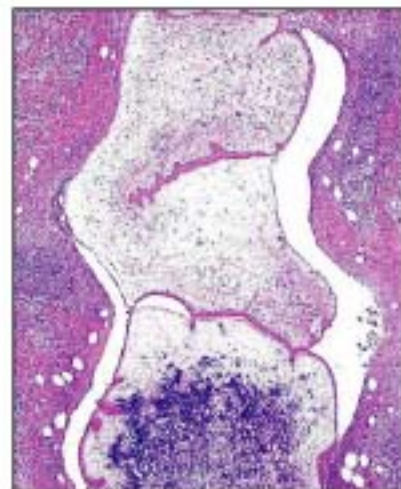
今月の症例

72才、女性 生検部位：右大腿

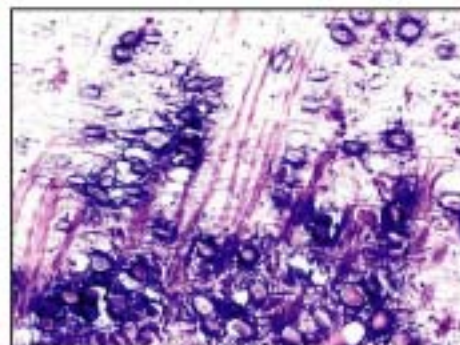
臨床診断：右大腿腫瘍 病理組織診断：Sparganosis



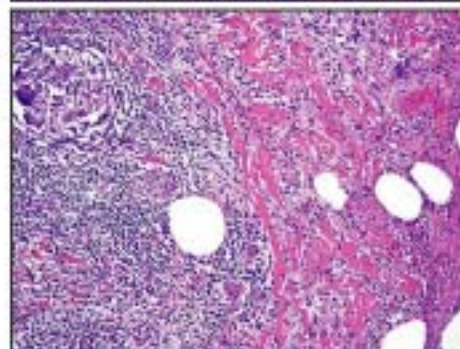
↑ 真皮上層から皮下脂肪織に至る著明な炎症があり、中心部には病原体（虫体）が確認できる。



↑ 虫体には平滑筋組織（上）と石灰小体と呼ばれる構造（下）があり、マンソン孤虫であることがわかる。



← 平滑筋と石灰小体。



← 虫体の周囲には異物型巨細胞性肉芽腫を含む著明な炎症がある。

WHAT'S NEW

7・8月生まれのお誕生会を開催し、田中恵子(写真左)、高野敦子(中央)、森谷早苗(右)のお祝いをいたしました。お花のプレゼントは夏らしいひまわりです。



今後の予定

9/19 (土) -23 (水) 木村鉄宣院長 中国西安へ海外出張
アジア皮膚病理研究グループ (Asia Dermatopathology Study Group) 設立準備のため
Fourth Military Medical University, Xijing Hospital 訪問

セミナー情報

皮膚病理講座

検索

お申込みはホームページからが便利です

さらに詳しく皮膚病理診断学を学びたい方にはこちら！

第2回 皮膚病理講座 診断編「皮膚病理診断への第一歩」(東京)

日時 2009年11月22日(日) 10時~17時 11月23日(月祝) 9時~16時

会場 日本医科大学 第3講堂(教育棟3階)

参加費早割料金にて 申込受付中

- ・各種皮膚疾患の病理組織像を理解する。
- ・皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握する。
- ・「絵あわせ診断法」のために必要な病理組織像を覚え、「パターン分類とアルゴリズム分析診断法」を理解する。

発行：札幌皮膚病理診断科

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: http://www.sapporo-dermpath.com 編集担当：高野 敦子